

登山キタ



タンネの雪原を登り頂上への尾根へ

◆上州・武尊山

▽11月11、13日▽静岡・三島勤労者山岳会▽垣野道子(女)、岡崎睦子(女)、後藤隆徳(男)、田中裕吉(男)、矢部幸雄(男)

11日、車で東名、関越道を通り水上へ。上ノ原高原では20号の積雪で、チェーンをつけても進めなくなる。道路のわきへ幕営。

12日、除雪車のものすごい音で目ざめる。おかげで登山口まで車で入ることができた。

8時半、カラマツ林のなかの林道を出発。快晴、無風。雪はヒザ下までの30センチ。奈倉沢へ入るとさらに深くなる。吹きだまりでは腰までもぐる。ピッチは上がらない。急登の末に12時峠へ着く。青空をバックに新雪の沖武尊、家ノ甲山、前武尊が輝いている。

ここからは私ひとりが進

む。きょうの登頂はむりなので、あすのためにできるだけラッセルをする。13時25分避難小屋前を通過。さらにラッセルを続け、14時半に折り返す。16時に登山口へ戻り、湯ノ小屋の山荘へ向かう。

13日、1時起床。車で送ってもらふ。登山口にはテントが3張ある。1時45分、ヘッドランプをつけて出発。前日ここからはまたラッセルだ。

以前のトレール上をゆけば雪はヒザ上までだが、それをはずすと腰までもぐる。ランプの光が右に左に揺れ、苦しい登高が続く。遠くで上越線の汽笛の音。登頂できないのはと不安が……。だが、あたりが白むとそんな気持ちも少しは楽になった。

ルートがはっきりしない。ピッケルで雪を崩し、ヒザで固めては登る。実に苦しい登りだ。肩の岩場でアイゼンをつける。頂上が左手奥に見える。

タンネの林の雪原をあえぎながら登ると、頂きへ続く尾根にとびだした。展望もひらけ、日光の山やまも見える。

一五八(男)の頂きに立つ。苦しい登山ではあったが、充実感がひろがる。

セルフタイマーで記念撮影をし、下山。避難小屋付近で登山者に会う。「ラッセルで苦労さまでした」の言葉がくすくすした。とばしにとばして登山口へ10時半。いい山であった。

武尊山への山行に参加した三島山パーティー



(後藤隆徳)

No.

Date